

令和6年度第4回我孫子市健康福祉総合計画推進協議会 会議概要					
(1) 会議の名称	令和6年度第4回我孫子市健康福祉総合計画推進協議会				
(2) 開催日時	令和7年2月21日(金) 10時から11時まで				
(3) 開催場所	議会棟AB会議室				
(4) 出席又は欠席した委員その他会議に出席した者の氏名 (傍聴人を除く) 出：出席 欠：欠席	委 員 (市職員以外)				
	欠	菅森毅士委員	欠	小川英郎委員	出 鈴木壽幸委員
	欠	寺岡加代委員	出	志賀幸夫委員	欠 内田裕美委員
	出	布施健委員	欠	茂木和之委員	出 佐久間美穂委員
	事務局				
	健康福祉部長(飯田部長) 社会福祉課(小池課長、山口、秋山) 高齢者支援課(茅野課長補佐) 障害者支援課(野口、高橋) 健康づくり支援課(村田課長補佐) 国保年金課(山梨) 子ども支援課(渡邊、成瀬) 生涯学習課(斉藤課長) 株式会社名豊				
(5) 議題	1. 第6次健康福祉総合計画進捗状況について 2. 第7次健康福祉総合計画について				
(6) 公開・非公開の別	公開				
(7) 傍聴人の数 (会議を公開した場合)	傍聴人の数 1人				

議題 1
第6次健康福祉総合計画進捗状況について

(事務局説明概要)

第6次健康福祉総合計画は、福祉部門及び子ども部門の各課が進行管理している個別計画の上位計画として位置づけられており、他部門との計画の連携を図る計画である。基本目標達成に向けた取組については個別計画を推進し、個別計画のないもの及び計画に包含する計画等については、核となる事業の実施を以て推進している。 核となる事業については「資料3 第6次我孫子市健康福祉総合計画 進捗報告」により
--

報告し、個別計画のある事業については、担当課より報告をした。

(質疑等概要)

布施委員	各事業について、新型コロナによる影響が大きかったと思う。今後また新型コロナのような大規模な災害等があった場合、各分野の計画を見直す予定はあるか。また、市の財政難で継続が難しい事業があるとの説明があったが、計画の中に財源確保についての方策などはあるか。
事務局	大規模災害等があった場合、計画を見直すというよりもまずは臨機応変に必要な対応をとっていき、その上で見直しの時期が来た計画の次期計画を策定する際に、必要に応じて災害等に対する内容も盛り込むことが考えられる。また、財政難については、福祉分野の支出は扶助費が大きいため、計画の中に財源確保の方策について特段の記載はない。
志賀委員	介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画の重点施策 5 介護人材確保及び業務効率化の取組の強化に認定調査票の確認に A I を導入とあるが、具体的にどのような業務なのか。
事務局	介護認定調査の認定調査票の不都合がないかの確認を A I が行っている。A I を導入したことにより、専門職を配置することなく業務を遂行できている。
佐久間委員	心も身体も健康プランについて、達成できなかった事業かつ前年度より実績が低くなった事業が他計画より多いと感じたが要因は何か。
事務局	健診の受診率の低下はコロナの影響により人数制限を設けているものもあるため、未達成の事業につながったと思われる。

議題 2

第 7 次健康福祉総合計画について

(事務局説明概要)

12 月 16 日から 1 月 15 日までパブリックコメントを実施し、1 件意見があった。2 月 5 日に市議会議員勉強会を実施した。第 3 回健康福祉総合計画推進協議会からの変更点を株式会社名豊から説明があった。

(質疑等概要)

佐久間委員	民間が実施している「まちの保健室」を計画書に載せてみてはどうか。
事務局	検討する。 (以下、回答) 第 7 次健康福祉総合計画は市が実施している事業を掲載しているため、市の事業ではない「まちの保健室」は掲載しないこととする。